



表彰式

山田町教育表彰式での輝かしい受賞

2月9日 山田町教育表彰が行われ、本校からはボート部と読書感想文コンクールの入賞者が表彰されました。ボート部は日頃の練習の成果が認められ、優れた成績を取めたことが評価されました。また、読書感想文コンクールでは3名が入賞し、それぞれの感性豊かな作品が高く評価されました。受賞した生徒たちは、日頃の努力と熱意が実を結び、誇らしい表情で表彰状を受け取りました。今後のさらなる成長が期待されます。

【ボート部】 3年 宮本 もあさん 野田 來未さん 田中 美羽さん 尾形 玲奈さん
2年 田中 結奈さん 中山 騰陽さん

【読書感想文コンクール受賞者】 2年 沼里 千幸さん 1年 加藤 凜さん 田代 奈々さん

ふるさと探究

ふるさと探究発表会

2月19日 ふるさと探究発表会が行われ、1年間の学びをスライドで発表しました。1学年は「津波碑ガイドツアー」と「防災出前授業」について報告しました。ガイドツアーでは震災の教訓を伝え、町の歴史や防災の大切さを学びました。防災出前授業では、小学生に分かりやすく伝える難しさを実感しながらも、自分たちの学びを小学生に伝える貴重な経験を得ました。2学年は「京都から学ぶ山田の未来づくり」として、多言語看板やアニメーションを活用した観光案内など、山田町の地域活性化に役立つアイデアを発表しました。修学旅行での学びをもとに、町の魅力をより多くの人に伝える方法を考えました。

1年間の活動を振り返り、地域とのつながりを深め、多くのことを学びました。この経験を次の学年でも活かし、さらに充実した探究活動につなげて行きましょう。



地域連携

やまだわんぴいすの発表

2月19日 本校会議室を会場に第3回学校運営協議会が開催され、「やまだわんぴいす」の今年度の活動について生徒が発表しました。発表者の1年沼崎 響さんは「山田海鮮焼き麺を知っていますか?」と問いかけ、委員の皆さん全員から手が上がりました。焼き麺の開発では何度も試行錯誤を重ね、原価計算も生徒自身が行い、納得のいく商品を完成させました。イベントでは完売が続き、来年度も焼き麺を通じて山田町の魅力を広め、地域活性化に貢献したいと発表しました。委員の方からは「実際に購入し、とてもおいしかった」「ぜひ続けてほしい」「家庭にも普及させては?」などの応援の声をいただきました。今後も生徒たちの挑戦にご期待ください。



卒業式

学び舎を旅立つ17名の生徒たち

3月1日 卒業式が挙行されました。今年度は17名の生徒が学び舎を巣立ち、新たな道へと進みます。式では、卒業証書が一人ひとりに手渡されました。その後、式辞が述べられ、卒業生たちへの祝福と激励の言葉が送られました。卒業生代表の答辞では、これまでの学校生活の思い出や、支えてくれた家族や先生方への感謝の気持ちが述べられ、会場は感動に包まれました。式の最後には、全員で校歌を斉唱し、卒業生たちは新たな未来へ向けて力強い一歩を踏み出しました。卒業生の皆さんの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。





防災

3月10日は山高防災の日

90周年事業の一環として2016年3月11日に制定されました。その目的は次のとおりです。東日本大震災から5年が経過したことで記憶の風化が懸念されるとともに、当時在籍していた本校生徒2名が、自宅で被災し尊い命が失われたことから、「山高防災の日」として記憶にとどめ、併せて本校生徒並びに職員の防災意識を高めることを目的とするものである。3月11日 午後2時46分に防災放送でサイレンが鳴りますので、その時いる場所で黙祷を捧げましょう。

東日本大震災から14年

発災直後の山田高校は、町指定避難所として最大約1,300名の方々が利用しました。

8月31日、県内最後の公共の避難所であった本校の避難所が撤去されました。

また、東日本大震災の発災直後から、多くの国、地域、企業、学校、団体、個人の方々に支援や励ましをいただきました。その中には、今まで気づいていなかったつながりや、新しく生まれたつながりもありました。



当時、本校への支援には次のようなものがありました。学校の様子を交えながら紹介します。

H23.4.1 不来方高校音楽部

清らかな歌声に疲れた心が癒やされた。

H23.4.28 入学式

新人生と校長以外は普段着で出席した。

グラウンドは自衛隊の車両で埋め尽くされた。

H23.5.29 青森県立名久井農業高校植栽活動

町内各所に合同で花を植えた。

H23.10.12~13 盛岡市立高校 新体操部

さいかち祭での特別講演が実現した。

H25.3.11 AKB48応援訪問コンサート

本校体育館でコンサートが開かれ、町内のこどもたちが勇気づけられた。

H25.10.19 神奈川県立逗子高校吹奏楽部

部活動交流の縁で、さいかち祭でも合同演奏を披露してくれた。



震災の教訓を風化させない!

東日本大震災の教訓を未来へつなぎ、防災意識を高めるため、本校では「ふるさと探究」の学習を実施しています。1学年は「津波碑ガイドマップ」を活用し、津波碑の意味や避難の重要性を伝えるガイドツアーを行っています。

また、小学生向けの防災出前授業では、防災クイズやワークショップを交え、震災の歴史や避難の大切さを伝えています。さらに、2学年は海外の津波博物館とオンライン交流し、ハワイやインドネシアの生徒と防災について学び合いました。

未来へつなぐ防災意識

生徒たちは、学んだ知識を次世代へ伝える役割を担っています。防災意識を持ち、地域とともに未来の安全を守るために行動することが、震災の記憶を風化させない大切な一歩です。



